

支え合いでつくる学校

大浦 寧々

私は今、生徒会長として学校生活を送っている。生徒会での活動を通して、私は、助け合っている。支え合いの大切さを日々感じて

生徒会では、毎月の月目標を達成するためにはどうすればいいか、具体的な対策を考え

ている。たとえば、生活習慣を整えよう

という目標のときには、ポスターの作成、

エッセイ、シートを作成し配布するなど、の活動

を行った。みんなの目標に対する意識を高め

いけるように工夫する中で、支え合いながら

よりよい学校づくりに取り組んでいることを

実感している。また、学校行事の運営にも取

り組んでいる。生徒会メンバーや先生と話し

合いながら、スムーズに進められるよう準備

をしている。生徒会メンバーと役割を分担し、

必要な資料を作ったり、当日の流れを確認し

たりする中で、自然と支え合いながら動くこ

とが当たり前になっ  
てきた。誰かが困  
っていたら声をかけ  
助け合い、足りない  
ところは補い合っ  
て行動していること  
に、大きなやりが  
いを感じている。こ  
うした日々の活動の  
中で、私は「支え合  
い」は特別なことで  
はない。日常の中  
にあるものであると  
感じている。小さ  
な声かけや協力の積  
み重ねが、学校の雰  
囲気を少しずつ良  
くしていくことにな  
る。と思う。そして、  
私自身も、自分に  
できること、なにか  
と何かを意識して行  
動するようになった。  
家庭では、親が毎日  
の生活を支えてくれ  
ていて、いろいろな行  
事などを通して、地  
域でも、いろいろな  
人が支え合っ  
て暮らしている。人  
とのかかわりの中  
で、私たちは安  
ん  
び  
た  
生  
活  
す  
る  
こ  
と  
が  
で  
き  
て  
い  
る。  
私はこれからも、生  
徒会長として、支  
え合  
い  
の  
バ  
ン  
を  
大  
切  
に  
し  
な  
が  
ら  
、  
み  
ん  
な  
が  
気  
持  
ち  
よ  
く  
過  
ご  
せ  
る  
学  
校  
を  
つ  
く  
っ  
て  
い  
き  
た  
い  
と  
思  
っ  
て  
い  
る。  
大きなことはでき  
なくとも、身近な  
ところから声をかけ  
たり、ちょっとした  
としたことで

かになれたりするようにな存在でいたい。助け  
合いは、誰かのためでもあり、自分のために  
もなるものだと思う。これからまわりの人  
と協力しながら、一つひとつのことに向き合  
っていきたい。